

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 4 月 11 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900036		
法人名	有限会社 まつした		
事業所名	グループホーム なごみ		
所在地	広島県三原市明神二丁目11番13号 (電話) 0848-67-0294		
自己評価作成日	平成23年1月10日	評価結果市町受理日	平成23年1月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490900036&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成23年2月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・入居者様とコミュニケーション（会話）を大切にしている。・料理などができる人には、できるだけ手伝ってもらっている。・活気の有る明るい生活の場で1日が楽しく過ごせる場にしたい。また、そのための努力もしている。・健康と安全を保ち、個々の特長を生かした生活（ケア）を進めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームなごみ（以下、ホーム）は、沼田川沿いの自然豊かな環境にあり、四季折々の情景を楽しむ他、山の緑が目鮮やかな景色が真近に感じられるホームです。ホームでは、「家庭的で温かな雰囲気の中での穏やかな生活を支援します」「日々の暮らしの中で生きがいを感じる生活を支援します」「その人らしい尊厳を認め合う生活を支援」「安心と安全を確保し生活しやすい環境を提供します」という、一人ひとりに合わせたぬくもりのある生活を支援するために独自の理念をつくりあげています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(なごみ1F)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関の見える位置に額を入れて掲げ、管理者、スタッフで共有し、実現に取り組んでいる。	毎日ミーティング前に職員全員が理念を唱和し、理念が職員の行動指針となるよう努められています。また、パンフレットに理念を明記して家族に説明したり、運営推進会議でもアピールしたり、職員、利用者、家族関係者への継続的な周知の努力が行われています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の方に出退勤時、入居者と外出時などに挨拶し、いつでも気軽に来ていただけるように明るく声をかけている。また、地域の夏祭りなどにも参加させてもらっている。	散歩の時の挨拶、おしゃべり、地域からの野菜や花の差し入れなどの馴染みの関係が築かれています。また、地域の夏祭りでは「なごみ」席が設けられ、地域の一員としてしっかりと存在感が示されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域貢献に関する取り組み方については、ミーティングなどで、検討をしている。今後へ企画および実施を行いたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回のペースで当ホームにて開催しています。出席者の意見要望を受け入れてサービスの向上に努めています。	行政、地域包括支援センター、町内会、家族、利用者、民生委員、法人等をメンバーとする運営推進会議が、2か月に1回開催されています。会議では、ホームの活動報告以外に、外部評価の結果も報告し、サービスの質向上に活かされています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居状況の提供や入居希望者への対応をしています。	市担当者に利用者の要望や生活ぶりなどを伝えて連携を深めておられます。また、市からの情報や事業所の実情などを相互に情報交換し、サービスの質向上に積極的に取り組まれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>管理者、ホーム長、スタッフ全員で身体拘束のないケアを実践している。</p>	<p>全職員が身体拘束をしないケアの実践に努めておられます。外出傾向のある利用者にはさりげなく声かけをしたり、一緒について行ったり、安全面に配慮した自然な暮らしができるよう支援が行われています。</p>	<p>身体拘束の持つ意味をより深く見つめていただき、現在のマニュアルを基に、より職場内教育に力を入れていかれることを期待します。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者、ホーム長、スタッフ全員でケアの現場での虐待防止について真剣に検討し、注意を払い防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ユニットごとのミーティングで学習して活用できるようにしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時または契約時に十分説明させていただき、理解、納得をしていただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>1Fリビング入口にご意見、ご要望を記入していただけるように所定の用紙と投入箱を用意しています。推進会議に家族の同席を求め、要望などをうかがう機会を設けている。</p>	<p>運営推進会議には家族代表も出席し、意見を出す機会を設けられています。また、言いそびれたことにも耳を傾けることで、運営に反映させておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月各ユニットのミーティングで意見交換を行っている。 経営サイドの同席を求め、提案や指示を受ける機会をもうけている。</p>	<p>毎月行われるミーティングは、職員全員が参加し、意見交換が行われています。また、法人代表が毎月ミーティングに出席し、職員から直接意見を聞く場を設計しており、提案された意見は可能な限り運営に反映させ、職員の意欲向上につなげられています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職務評価シートなどを活用し、職員個々の自己の研鑽をうながしている。 介護職員処遇改善給付金の活用を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部への研修、ホーム内研修などを実施して、ケアの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の同業者への研修や交流の機会を持てるように取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人や家族からの話を、できるだけ聴けるように、機会を設けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居後、家族の抱えている事柄を出来るだけ受け止めるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族がどのような生活を希望されているか、十分に聞き取り、もっとも適したサービスは何かを共に見極める支援をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>スタッフは、食事、レクリエーション、家事などを共に行い、コミュニケーションをはかり、理解しあえる関係を徐々に築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>スタッフが、家族の面会時に本人の現在の状態を記録などで説明し、共に支える関係が出来ている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人との通信や面会なども遠慮なく続けていけるような支援を行っている。</p>	<p>利用者がこれまで大切にしてきた家族や友人と携帯電話で会話を楽しんだり、来訪時に写真を撮ったり、長年の縁を大切にしていた昔ながらの人間関係を大切にされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	生活の中で、少しずつなじみの関係が出来るように、見守り、声かけをし、孤立させないように配慮に心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	関係を断ち切らない付き合いを大切にしていきたいと伝えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、家族の生活に対する意向は、面会時などに聴かせてもらい、できるだけ意向にそえるように検討している。	日常の会話、外出時、家族の訪問時、プランの説明時等、ゆったり時間をとり、一人ひとりの思いや希望、意向を汲み取るよう努めておられます。また、日々の生活の中で声かけや言葉、表情などから、利用者の意向を汲み取るよう心がけておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人それぞれの現有能力の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は本人が生活しやすく安全で実行可能な内容にしている。</p> <p>各ユニットでのミーティングで十分な検討を行い、意見を反映した計画を作成している。</p>	<p>定期的及び日常の生活状態等低下などがあつた時に、随時見直しが行われています。また、利用者、家族には日頃の関わりの中で、思いや意見を聞いてケアプランに反映させ、現実に即した計画となるよう努められておられます。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活記録は、個人別に気づきや工夫を申し送りノートで共有し、ケアや介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人、家族の必要に応じて事務所で話の時間を設けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議を定期的開催して民生委員、町内会長に支援を要請している。</p> <p>ボランティアを2ヶ月に1回のペースで依頼している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人と家族の希望を聞きながら、主治医や提携医とより良い関係を築き体調の安定のため支援している。</p>	<p>利用者の希望を優先し、入居前と同じかかりつけ医を利用できるよう支援されています。また、協力医との連携も密で、定期往診が行われる他、急変時往診体制が整えられており、利用者・家族の安心感へとつながっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在、看護職員は勤務していない。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	安心して退院後もホームでの生活ができるように、入院中は情報提供を依頼し、相談できる関係を築く努力をしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	随時、家族・スタッフ・主治医と話し合いを持っている。「できること、できないこと」を記入して見極めを十分に、重度化した状態でも本人なりの生活ができるように検討している。	重度化した場合は、利用者・家族の意見を尊重すると共に、かかりつけ医との連携を密にして「できること、できないこと」の見極めを大切にしながら、重度化した場合でも支援ができるよう体制が整えられています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	応急手当等の研修を受講し、ユニットミーティング等で勉強している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年に2回、防災訓練を実施している。また、訓練時には近隣の方にも協力をお願いしている。	年2回の避難訓練が実施されています。また、地域に声をかけて協力してもらい、定期的に防災訓練を実施されています。	ホームとして消防車が着くまでに具体的な避難誘導策が必要です。また、消防署の指導のもと、隣近所にどのように助けを求めると、利用者が安全に避難できる方法を全職員が身につけることを希望します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の保護に気を配り、声かけ・記録などには十分に気をつけている。記録上では個人の名前はアルファベット4文字で表記している。	日々の暮らしの中で、利用者一人ひとりのプライバシーや尊厳を大切にされています。さらに記録は、個人が特定できないようにアルファベット4文字で表記するなど、個人情報に対する配慮が徹底されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	生活の中で自己決定をしやすいように声かけを行い、想いを表せるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のレクリエーションなどでは入居者の希望を聞きながら進めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時、本人の希望に合わせて服を選んでいただいたり、化粧をしていただいている。美容室に行かれる人もいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を決めるときは、できるだけ希望を聞きながら決めている。準備・片付けも出来る方には協力してもらっている。	利用者と一緒に買い物に行き、準備、片付けも一緒にされています。また、献立を決める時は、希望を聞きながら食事への関心を引き出す工夫をし、誕生日祝いには特別メニューにするなど、食事が楽しみなものとなるよう工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>本人の自宅での食事摂取量に応じて提供し、実際に摂取した量を記録に残している。また、状態に応じて食事の形態を考慮している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりにあった方法で、口腔内の清潔が保持できるように支援している。義歯は外して夜間、消毒洗浄している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄の支援をしている。</p>	<p>トイレでの排泄を基本とし，一人ひとりの排泄パターンを把握して尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導や声かけにより自立に向けた支援が行われています。また，飲水量，排泄量の必要な利用者には飲水量の調整，排泄量の測定が行われています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>個々の排便状態を把握したり、水分を取るように努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人の希望を聞きながら、できるだけ要望に応じられるように努めている。</p>	<p>入浴を無理強いしないよう配慮し，入りたい時に入浴できるように支援されています。また，健康チェックシートの記録をもとに声かけ，見守り，介助により家庭風呂での入浴が支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣にそって安心して休めるように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	作用・副作用について把握して、理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活の中で出来ることを手伝ってもらい、必ずねぎらいの声かけをして張り合いを感じてもらえる支援をしている。 調理・園芸などで気晴らしの支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩、買い物などで戸外に出かけられるように支援している。	天気の良い日には、希望に応じて散歩や買い物を兼ねて、ドライブを楽しんだり、寄り道したりして、気晴らしの支援につながられています。また、家族の協力を得て、「外に出かけたい」という気持ちを大切にされた支援が行われています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の理解と協力で希望にそえるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や知人などからの電話や手紙を自由に受けたり、受け取ったりできるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有スペースは特に過ごしやすいうように工夫を凝らしている。季節感などを取り入れて居心地良く過ごせるようにしている。	居間、台所、食堂が一体となり、開放感ある造りです。リビングのソファは、ひと休みできるようソファを要所に配置するなど、利用者の体力を考慮しながら落ち着いた環境となっています。また、壁には季節に合わせた絵を飾るなど、和める空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有スペースにはソファがあり、仲良く話が出来たり、テーブルで新聞を読みながら過ごせるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自室では家族と遠慮なく話が出来たり、安心して過ごせるように気に入ったものを置いたりできるように工夫している。	居室の入口には、手作りの折り紙やぬいぐるみ、写真などを飾り、それぞれの居室がひと目で分かるように配慮されています。また、居室は家族と相談しながら、利用者のお気に入りの写真や絵を飾ったり、ベッドの位置も機能的に配置したりして、のびのびと過ごせる環境となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々の状態・状況を把握して、安全に安心して生活ができるように支援している。		

V アウトカム項目(1F)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(なごみ2F)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「穏やかな生活」「生きがいのある生活」「その人らしい尊厳を認め合う生活」「安心できる環境」この4項目の理念を設定し、日々の生活の中で取り入れている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	出勤時や入居者さんとの散歩のときなど、必ず挨拶している。 行事の案内やお知らせなどを届けたり、季節のお花をいただいたりしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居者の手作りによる広告のくずかごを行事に参加した方に使ってもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、必ず評価についての説明を行い、更に要望などを受け入れて改善に努力している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	定期的な入居状況の提供や希望者への対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日々のケアの中で、見守りを中心に、注意しながら防止に努め取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>実際のケアの中で、見過ごすことのないように注意し、かつ防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度については利用されている利用者の方がおられるので、随時、スタッフには説明を行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約については、十分に時間をかけて説明し、理解していただいたうえで、署名をいただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に、ご意見・ご要望を記入して頂ける用紙を用意している。 推進会議に家族の同席を求め機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度ミーティングを開き、経営サイドにも出席を依頼し、提案など聞く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職務評価シートなどを活用し、職員個々の自己の研鑽をうながしている。介護職員処遇改善給付金の活用を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部への研修や月に一度のミーティングでの話し合いをしている。資格取得への努力や研修会を開き、参加状況を把握し、意欲向上につながるように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の事業所との交流などを行い、学びの場を広げる努力をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	家族、本人から現在までの生活歴や家族に対する思いなど、多面にわたり情報を提供して頂き、受け入れ態勢の万全を尽くす努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前からの様子を聞き、相談にのり、家族の不安や困っていることをしっかりと聞く時間を持つようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホームでの生活が、本人や家族にとって良い結果にむすびついたのか、見極めながら対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食事から洗濯掃除など、日常生活を共にし、出来る範囲で行い、レクリエーションではカラオケや体操などを楽しみに支え合っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には、生活状況を伝え記録の開示や説明をしながら共に支え合う努力をしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ドライブする時本人が生活されていた場所走ってみせてあげたり、大切な友人・知人との電話や手紙のやりとりができるように努めている。 面会を受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	一人ひとりが、毎日笑顔で生活できるように、やさしい声かけを行ったり、話の合う利用者同士が楽しく会話できるスペース作りをしている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	家族からの要望があれば、対応していきたい。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人家族の意向は面会時に十分うかがい、本人の生活に合わせてプランの見直しをするよう検討している。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	バックグラウンド・経過発症シートの記入を家族に依頼し、把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	生活の状況・バイタルチェックにより体調の把握に努め、必要な時は主治医に相談・往診の依頼をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	それぞれの関係者から意見要望をうかがって、その想いを反映させたプランにしている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の生活の介護記録や申し送りノートへの記入を共有してケアプランに反映させている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	状況に応じて、管理者・ホーム長・スタッフが随時支援している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	ボランティアの協力で、よりよい生活ができるようにしている。 七夕コンサート、クリスマスコンサート、歌などを楽しんでいる。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	協力医の支援のもとで、体調の安定をはかっている。内科胃腸科、整形外科、歯科。随時又は定期的な往診の対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	現在、看護職員は勤務していない。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時も状況の提供をし、退院時は、入院中の状態の情報提供を依頼したり、本人にも面談している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	体調の急変、重度化については、早い段階で家族や病院スタッフ、GHスタッフで、繰り返し話し合いをし、相談をしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	年に1度消防署による救急救命の訓練を実施し、実践力を身につけ、事故に備えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回、消防訓練を実施して、昼夜を問わず、利用者の安全を守るために全職員と地域の方への協力もお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	十分注意しながらケアに当たっている。 記録上では、個人名はアルファベット4文字で表記している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個人個人で表出の度合いが違うので、利用者個人に合わせた声かけと返事を待つように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床時間や日中の過ごし方など、その人のペースに合わせたその人らしい生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	好みの服など本人の思いを聞きながら、介助したり、化粧水などを使われたり、家族の協力により美容院へ行ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	季節感のある食事やおやつ作りなど、楽しみを持てるようにしている。 可能な限り出来る事はスタッフと一緒にしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>生活表に一人一人の水分量や食事の量1日分の記録をし、状態をつねにスタッフ全員で把握している。栄養のバランスを考えた調理を心がけている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを支援している。義歯の方は、就寝前には外し、消毒洗浄に取組み、歯科受診に結び付けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>本人なりの排泄パターンを把握し、失敗や恥ずかしい思いをしないような支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事や飲み物で、なるべく便秘しないよう努力している。個々でどうしても食事などで予防できない時は、主治医に相談して対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>気持ちよく入浴できるようにタイミングを見計らって声かけをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活習慣に合わせてソファや自室で休息できるよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ全員が一人ひとりの薬を理解し、症状の変化に気付いたら、素早く対応できるよう支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活の中で、手伝いを通して生き生きと生活してもらえるように支援している。 大根おろしやケーキ作りなど、スタッフと共に楽しみながら作っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物や散歩など外出できるようにしている。 春は花見、秋は紅葉狩りと、家族の協力も得て支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族の協力で所持できるようにしている。 買い物などは、付き添いで外出している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば、自由に会話又は通信できるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースで、楽しく過ごせるようにテレビ、ソファ、テーブルなどの位置や座る場所も配慮している。また、リビングに季節感を感じる空間にするため毎月壁画を工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングでそれぞれ本を読んだり、新聞を見たり、おしゃべりしたりと、自由に楽しめるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内では、家族と気軽に話ができるように、椅子などを使用してもらっている。また、好みの物を持ちこんで安心した生活ができるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室がわかりやすいように大きく書いたり、目印をつけたりと工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなごみ

作成日 平成 23 年 4 月 10 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として, 消防車が着くまでの避難誘導の具体的な策が不十分。全スタッフが周知不十分。	消防署の指導のもと, 近隣の方にどのように助けを求めるか全スタッフが共有し身につける。	5月に防災訓練を実施する。そのための学習会を持つ。	2か月
2	6	身体拘束をしないケアの実践の学習が不十分。	ホーム内研修を持ち, スタッフ共々身体拘束の持つ意味を学習する。	4月中にホーム内で研修会を設ける。	1か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。